

第2章 緑の機能別評価と課題の整理

第2章 緑の機能別評価と課題の整理

(1) 緑の機能別評価

現況調査を基に、本市の緑について4つの機能別に評価した結果を下図に示します。

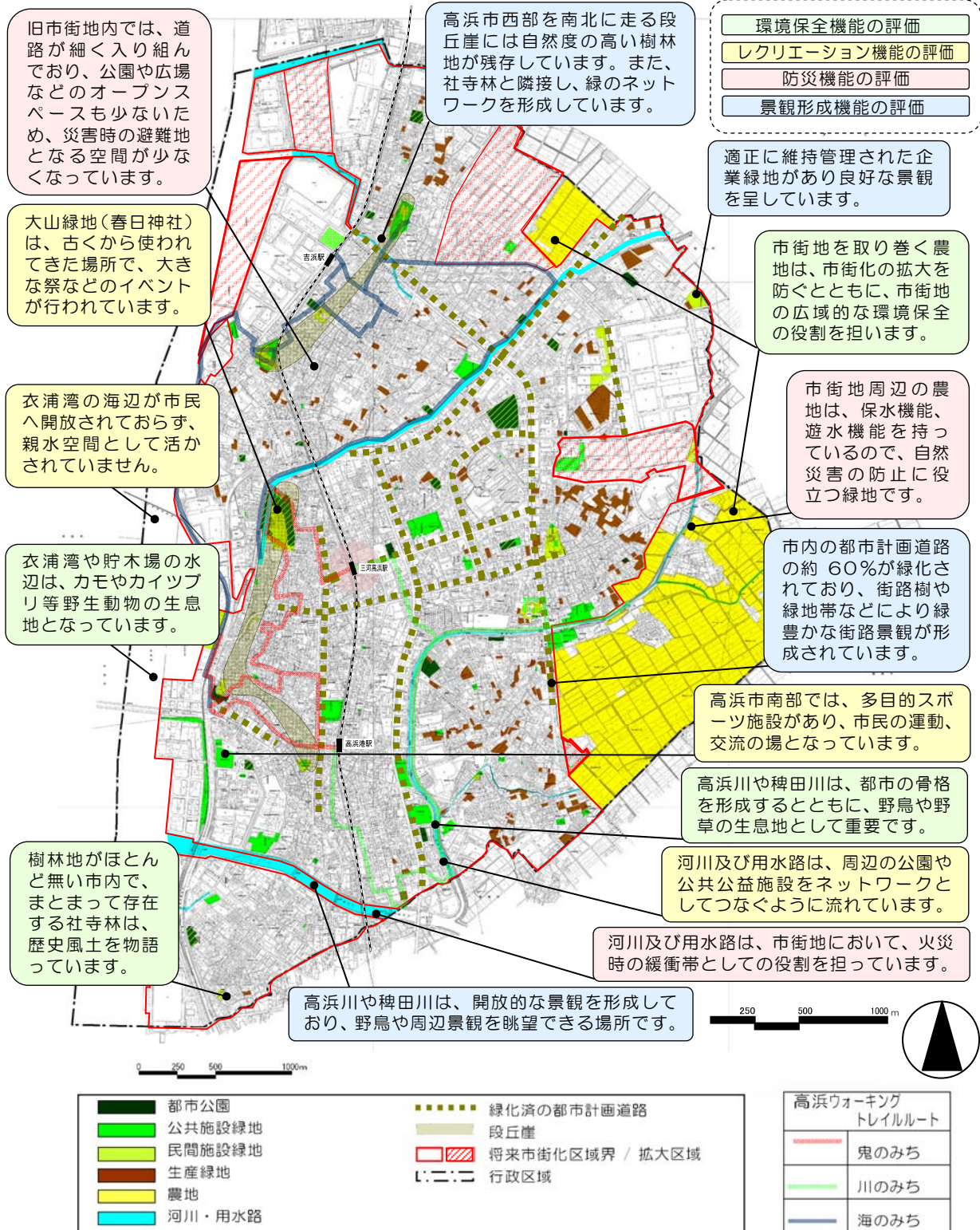


図 2-1 緑についての機能別の評価

(2) 課題の整理

緑についての市全体にかかる課題について、4つの機能別に以下に整理しました。

1) 環境保全機能

①段丘崖沿いの斜面林、社寺林の保全

衣浦港沿いの段丘崖沿いの斜面林や社寺林は、本市の歴史・風土を伝える緑地であるとともに市街地内のまとまりある緑地として、環境保全機能上重要であり、保全する必要があります。

②都市の骨格を形成する高浜川・明治用水中井筋等の河川・水路の保全や衣浦港沿いの緑地の保全

高浜川や稗田川等の河川は本市の骨格を形成するとともに、野鳥等生物の生息地として貴重であり、保全する必要があります。また、衣浦港沿いの水辺緑地においても野生動物の生息地となっているとともに市街地を囲む緑地としての機能も果たしているため、保全をする必要があります。

③農地の保全

市街地をとりまく優良農地は市街地の拡大を防ぐと共に市街地部の広域的な環境保全上重要であり、保全する必要があります。また、市街地内に指定されている生産緑地地区についても、環境負荷軽減に役立っており保全を継続する必要があります。

2) レクリエーション機能

①既存公園の適正な維持管理や臨海部等における緑地整備の推進

既存公園の適正な維持管理とともに公園施設の長寿命化を図り、安全でコスト縮減に配慮した公園維持管理を進めていく必要があります。また、新規市街地における公園整備や、臨海部におけるベイサイド計画による緑地整備の推進が必要です。

②河川沿い、衣浦港沿いのネットワーク路の活用など、歩けるまちづくりへの整備推進

高浜川、稗田川や明治用水中井筋は、市街地中心から周辺部へ抜ける緑のネットワークとして重要な位置にあります。これらの河川沿いをはじめ、本市では、ウォーキングトレイル整備事業として、地場産業の一つであるやきもの『甍』（いらか）を全体整備テーマとし、歩けるまちづくりが推進されています。このルートは、本市の観光地域資源ともネットワークしており、広域型レクリエーションにも対応した散策路として重要となります。また、紫峰人形美術館周辺などでは、人形小路ゾーン計画にあわせ散策ルートなどのネットワークづくりが必要です。

これらの散策路ネットワークの充実を図っていきます。

③生産緑地の保全と活用

市街化区域に点在する生産緑地は、自然とのふれあいといった市民農園等のレクリエーション機能からの活用が望まれます。

3) 防災機能

①避難地、避難路の保全、確保

旧市街地内では、道路が細く入り組んでおり、公園や広場等のオープンスペースも少ないため、災害時の避難地となる空間の確保が必要です。また、避難地となる公園緑地について、当該公園の防災的位置づけに対応した防災施設機能の配置が必要です。

4) 景観形成機能

①市を代表する景観における緑地の保全や緑化推進

段丘崖斜面林、稗田川や高浜川などの河川、衣浦港沿いの水辺や市の歴史を物語る社寺林は、本市を代表する自然、歴史景観資源であり保全が必要です。

また、三河高浜駅周辺では都心の顔として広場及び景観づくりが行われており、景観づくりを周辺市街地にも適用していく必要があります。高浜ベイサイド計画のある衣浦港沿いの水辺や、やきものの里周辺、人形美術館等がある吉浜駅周辺は本市を代表する景観であり、本市の顔としての緑化推進が必要です。

②街路樹による緑のネットワーク形成

都市計画道路では、全体の約6割に街路樹植栽又は緑地帯が整備されています。道路は、都市における良好な景観形成において、市内の水や緑を最も細かく結ぶネットワークとして貴重であり、今後、整備される都市計画道路はもちろん、その他の道路においても緑化整備が必要です。

③工場や民有地における緑化推進

民間企業により緑化整備されている空間の維持・保全について、企業に協力の継続を図っていく必要があります。また、市街地内の民有地について、市民参加型での緑化推進を検討します。

課題図について図 2-2 に示します。

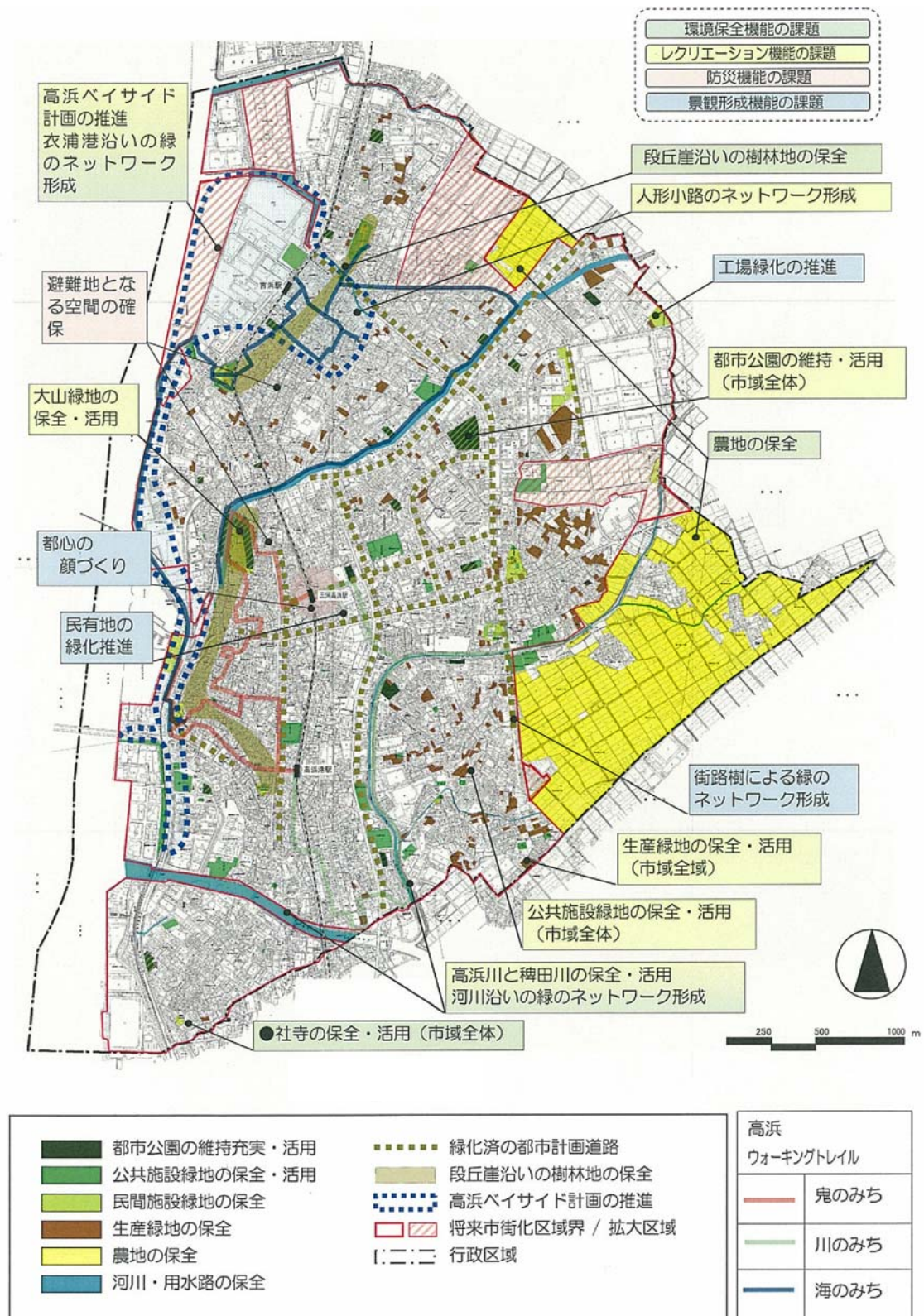


図 2-2 課題図

地区別課題については、以下の表に示します。

表 2-1 地区別課題一覧表

	環境保全機能	レクリエーション機能	防災機能	景観形成機能
① 吉浜地区	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 海岸、河川、養魚場、貯木場等の水辺の自然の保全と活用 ◆ 市街地の住環境整備（公園、公共施設、街路等） ◆ 段丘崖の社寺、斜面林の保全と育成 ◆ 農地の保全 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 海辺の水と自然に親しむ高浜ベイサイド計画の推進 ◆ 人形小路のネットワーク形成 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 旧市街地内の防災機能向上 ◆ 農地の保全 ◆ 臨海部における安全対策としての海沿いの緑化 ◆ 段丘崖の斜面林の保全 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 「海のみち」整備推進 ◇ 自然を残す、道路沿道の緑化、大木のある道路づくり
② 翼地区	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 用水周辺部を含む自然環境保全と緑化の推進 ◆ 快適な住環境づくり（公園、街路、住宅等） 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 周辺緑地（公園、公共施設等）のネットワーク ◆ 街の魅力となる新たな緑地の創出とネットワーク 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 市街地中心部と周辺部を結ぶ防災避難軸として明治用水中井筋を活用 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 工場緑化の維持保全 ◆ 緑地帯（生産緑地、工場緑化）の維持・活用 ◇ 街路樹の適正な管理、ジョギングなどのできる公園整備、道路緑化、緑化後の維持管理
③ 高浜地区	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 段丘崖の社寺、斜面林等地形や樹林の保全と育成 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 「鬼のみち」の維持・活用 ◇ 大人も子どもも楽しく遊べる公園づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 旧市街地内の防災機能向上 ◆ 臨海部における安全対策としての海沿いの緑化 ◆ 段丘崖の斜面林の保全 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 都心地区（三河高浜駅周辺）の緑の拠点と高浜の顔づくり
④ 港地区	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 河川、堤防部の自然環境保全 ◇ 緑が多く住みやすいまち 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 高浜ベイサイド計画の推進 ◆ 水辺の散策路、休憩広場等の整備 ◇ 高浜川水辺に遊歩道 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 臨海部における安全対策としての海沿いの緑化 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 密集市街地の緑化の推進 ◆ 堤防、橋等の水辺景観整備
⑤ 高取地区	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 稗田川の自然環境の保全と活用 ◆ 農地の保全 ◆ 歴史的な社寺、屋敷林等の緑地の保全 ◆ 旧市街地の住環境整備（公園、公共施設） ◆ 周辺環境（稗田川や生産緑地等）を生かした市街地形成 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 様々なレクリエーション、文化施設を結ぶネットワーク路（川のみち） ◇ 緑豊かな市、公園の遊具の安全性確保、河川敷の管理、論地町の公園づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 農地の保全 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 高浜市の環状緑地帯を形成

注：◆は現況調査・上位計画等からの課題、
◇は市民意識調査からの課題

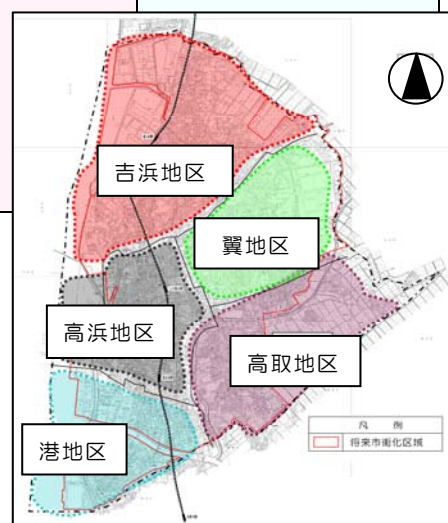


図 2-3 各地区の位置